

元気館、国保、高齢者福祉など

妻田地域で党議員団の議会報告会

5月26日(日)、妻田北にあるコミュニティホームそれいゆ妻田で、党議員団の議会報告会を行いました。

最初のテーマは「元気館」

これまでの議会報告会では、まず議会全体の報告をしてからフリートークとなるのですが、この日は、特に「元気館」のことを聞きたいとの希望があり、そこから始めました。

(仮称) 元気館は来年4月にオープン予定であり、地下2階は駐車場、商業施設は当初3フロアーとしていたものが、地下1階から地上4階までの5フロアーに広がり、それらを一手に管理運営する商業オペレーターは、プロポーザル方式ですでに決定しています。5階から8階までが市の公共施設として、現在ある中心市街地の公共施設のいくつかの機能を移すこととなります。また9階は総合メディアフロアーとして映画館のほか文化交流のための施設を予定しており、やはり業者の選定が済んでいます。公共施設の最適化基本方針及び中心市街地の再配置計画策定も報告しました。



この後は、短めに2月議会の報告フリートークです。

フリートークで意見次々と

国保法44条では、医療費の減免等ができるようになっていて、厚木では、条例を定めているか。

↓ 条例ではなく、要綱で定めている。これまでに適用例はないが、生活保護につなげる事もある。

ミニバスは進んでいないが、連節バスは走っている。

市立保育所の民営化は反対だ。かなちゃん手形の補助が7000円から6000円になった。

これらについて、多くの質問や意見がありました。

総合福祉センターは取り壊すのか。勤労福祉センター跡地は保育所にすると聞いた。

寿荘はどうなるのか。勤労福祉センターは駐車場があるのので、使い勝手が良かった。元気館はどうか。

使用料はどうなるのか。

元気館の土地・建物取得に8億5千万円、改修に24億円かかると聞く。厚木市はそんなにお金があるのか。それだけの価値があるのか。厚木のお金の使い方に注目したい。店舗はそんなに入るのだろうか。2-2地区の再開発はどうなっているのか。

パブコメをしても市民の意見は反映されないのではないかと。※ いろいろと話されていますが、詳細については未定です。

東口の商店街が閉じて、トイレや駐輪場が無くなり、困っている。

市内の小中学校の耐震は大丈夫か。↓ 平成22年度で完了している。

議員団の予算要望に対して「国の動向を見て」との回答が多い。生活保護が今年8月に変えられると聞く。減額されると心配している人がいる。

65歳以上で新たに身体障害者になった場合の医療費補助が、2、3年前に打ち切られた。年齢による差別だ。撤回してほしい。

荻野公民館が新しくなったが、旧館も使えるようにしてほしい。

↓ 現在は「荻野埋蔵文化財展示・収蔵室」になっており、貸出しはしていない。老人憩の家は誰でも使えるようになって、良かった。

肺炎球菌ワクチン接種補助など、厚木は他市より進んでいることが多い。

テーマを決めてやるというものも、なかなかいいものだと感じました。日頃から行政に関心を持っていると、要望もたくさん出てくるのでしょうか。

5月には厚木市議会としての議会報告会が4会場で開催されました。議員個人の意見や発言は話すことができます。

党議員団独自の議会報告会では、党議員団の見解や議会でのやり取りを、楽しくわかりやすくお話しします。参加者同士の活発な意見交換もできます。

間もなく6月議会。議会の傍聴と併せて議会報告会にもお出かけください。

~~~~~

#### 今週の活動から



5月19日、中央公園で少年少女フェスティバルが開催。おもちゃ作りを通して物作りの楽しさを知ろうと、ジュニアリーダーが指導。あゆコロちゃんの人形を製作。(上: 釘丸久子議員) 26日、さつきまつりに参加。びっしり花がついて見上げるほどのさつきに感激。(下: 栗山香代子議員)



妻田地域の議会報告会で「寿荘のスロープがきつい」との発言に、翌日、車いすを借りて実証実験。下りは怖いほどのスピード、のぼりは自力では上がれない。カーブの所にベンチ(ぶつかる危険を回避?)や鉢植えがあり、せまくなっています。